

# イソシアネートに暴露された労働者に対する職業性喘息の評価を行うための一般臨床医向け指針

Prepared by: David Bernstein, M.D., Professor of Medicine and Environmental Health, University of Cincinnati College of Medicine, Sponsored by the International Isocyanate Institute, Inc.

## 診断プロセスと想定される結論

**Step 1** ジイソシアネート誘発職業性喘息と一致する病歴



**Step 2** 肺機能検査:  
気管支拡張剤投与前後



**Step 3** 4週間の継続的な PEFR<sup>1</sup> 測定:  
作業中の2週間及び作業から離れた後の2週間



**Step 4** メタコリン吸入試験:  
作業期間中の2週間

1. 臨床的喘息は無く、PEFR及びメタコリン試験が正常；  
ジイソシアネートを取扱う作業を続けることを許可
2. PEFRが正常で及びメタコリン試験が異常；  
気道反応性の亢進又は臨床的喘息と考えられ  
仕事の継続を許可できるが、毎月のフォローが必要
3. PEFRが異常で及びメタコリン試験が正常；  
喘息に一致しない  
さらなる検査の適応
4. PEFRが異常で及びメタコリン試験も異常  
作業関連喘息と考えられる  
ばく露作業から外すことが必要
5. PEFRばく露作業でもばく露がない作業でも異常；  
仕事により悪化した臨床的喘息又は進行した職業関連  
喘息の可能性  
職業性肺疾患に精通した専門医への紹介を

<sup>1</sup> PEFR =最大呼気流量 Peak Expiratory Flow Rate

PEFR：4週間の継続的な PEFR  
臨床的喘息：職業性喘息ではない一般的な喘息

詳細に関しては指針の全文をご参照ください。